

子ども会連合会費と政務調査費から調査旅費を「二重取り」

**山田春男議員**  
に対する (西区選出)

# 辞職勧告決議案 否決!

## 日本共産党(5人)ほか2人が賛成。反対は46人

山田春男議員(西区、政和ク)がこれまで、東京への調査旅費などを自らが会長を務める市子ども会連合会から受け取りながら政務調査費からも常習的に受け取っていた問題で、9月定例会の本会議最終日(28日)に、同議員の辞職勧告決議案が馬庭恭子議員(中区、無党派)から提案されました。

日本共産党は賛成討論(中原ひろみ議員)を行い、日本共産党の5人と馬庭議員、豊島岩白議員(西区、立風会)の計7人が賛成しましたが、他の議員は何ら発言することなく反対にまわりました。

## 市民の目がこわくて急きょ、反対討論をとりやめ

決議案に反対した各会派は反対討論に立つ準備をしていました。ところが、市民の厳しい目とマスコミがよほど怖かったとみえ、本会議の直前、急きょ発言通告を取り下げました。このたびの問題は、単なる「使途の誤り」ではなく、刑法に照らしても「公金詐取」などに問われる犯罪行為にあたるもので、市職員なら懲戒免職に匹敵する行為です。反対した議員は市民にどう説明するつもりなのでしょうか。

## 否決後、さっそく市民から「怒りの電報」が議長に届く

本会議終了後に開かれた決算特別委員会の正・副委員長会議で、藤田博之議長は辞職勧告決議案が否決されたことへの「怒りの電報」が、議長宛に市民から早速届いたことを明らかにしました。



市民、マスコミが注目するなか、辞職勧告決議案に賛成起立する、(左から)皆川けいし、中森辰一、中原ひろみ、村上あつ子、藤井とし子(以上、日本共産党)、豊島岩白、馬庭恭子の7議員=9月28日、本会議場

**日本共産党**  
**広島市議団ニュース**

2007年9月28日 NO.741

発行 日本共産党広島市会議員団  
広島市中区国泰寺町1-6-34

TEL 082-244-0844  
FAX 082-244-1567



# 全会一致で可決

市民の声が市議会動かす!!

# 政務調査費 「全面公開」

今年2月の不正支出発覚以後、政務調査費の使途の不透明さが市民の批判を浴び、4月の市会議員選挙でも市民の大きな注目を集めました。

こういった市民世論の高まりに応えるカタチで、9月定例会最終日の28日、政務調査費「全面公開」条例改正案が全会一致で可決しました。政務調査費・費用弁償・海外行政視察の見直しを検討してきた議長の諮問機関の答申を基に、全会派で共同提案したものです。



政務調査費は議員1人あたり月額34万円交付され、現行では事務所費・人件費を除く一件5万円以上の領収書が公開対象です。今回可決した条例改正で、来年度支出分(08年4月)から全ての領収書が公開対象となります。

日本共産党は、自主的に2002年からホームページに全ての使途を公開し、また、今年2月の予算議会で「全面公開」条例改正案を議員提案するなど、早くから議会に対して全面公開を働きかけてきました。

日本共産党はこれからもより一層の透明化を目指します。みなさんのご意見をお寄せください。

## 政務調査費の透明性を求める請願

# 日本共産党以外はダンマリのまま **継続審査**

27日の総務委員会で、「政務調査費を透明にさせる会」(秦明美代表)が提出した「政務調査費の透明性を高めることを求める請願書」は、実質審査もなく継続審査となりました。

請願書は、出張旅費などを自らが会長を務める市子ども会連合会から受け取りながら、政務調査費からも受け取るという「二重取り」が発覚した山田春男議員(西区)の議員辞職を求めるとともに、会派代表者が領収書の代わりに発行する「支払証明書」が不正支出の温床になっていると指摘。今年2月の住民監査結果で不正支出が発覚した公明党および市民・民主フォーラムなどの疑惑解明に特段の努力をするよう求めています。

10人の委員のうち、ただ一人発言した日本共産党の皆川けいし議員は、「市議会の政治とカネの問題に市民もマスコミも注目している。この定例会で議会の意思を示すためにも請願を採択すべきだ」と訴えましたが、他の委員からの発言はなく継続審査(=問題先送り)となりました。